

2024年度年間標語「キリストに結ばれて、共に歩むわたしたち」コロサイ 2:6-7

『老人は夢を見、若者は幻を見る』

宣教部担当執事 相澤宣一

教会には、色々な人がいます。年齢層も、バックグラウンドも、得意なこと、興味のあること、課題と感じていることも、それぞれ違います。このような人たちが力を合わせて、一緒に教会を建て上げて行くために、皆が「そうだ!」と思い、気持ちを一つにできる大きな目標を持ちたいと考え、中長期計画をそのようなものにして行きたいと願って来ました。

昨年5月の総会で、第二次中長期計画が承認されましたが、やっとスタートラインに立ったところであり、これから、具体的な施策を進めて行くことになります。そのために、皆さまのご意見を伺い、一緒に考えて行きます、と言っているのですが、なかなか良い話し合いの機会を作ることができておりません。

一口に「皆で議論する」と言っても、知識や関心のレベルをある程度合わせないと、議論が噛み合わず、話が先に進まないという状況を恐れるためです。そんなとき、ふと、この御言葉が目に留まりました。——「息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る」ヨエル書3章1節。インターネットで幾つかの教会の牧師の宣教を見ると、ここに出てくる「夢」と「幻」は同じものを指しているということでした。「預言」も同じもの、つまり神様から私たちに与えてくださった希望であり、皆が一緒に目指す大きな目標と捉えることができます。「息子や娘」「老人」「若者」は、共同体の中の色々な人を指しているのだと思います。私たちの教会も同じです。そして、それぞれの人々が、この与えられた希望であり目標への接し方の違いによって、「預言」「夢」「幻」となっているのではないのでしょうか。

「夢」は眠っているときに見るものですが、「幻」は起きているときに見ます。「預言」は自分の考えではなく、神様から預けられた言葉です。私たちは、「息子や娘」である子どもたちの素直な言葉の中からも、神様からの言葉を聞き取って行く必要があります。そして、元気な人は、それぞれの賜物を持ち寄って、与えられた「幻」に向かって進んで行きましょう。一緒に働くことが難しい人も、「夢」を見ることが出来ます。それは、働き人が疲れた時には力づけ、迷ったときには指針となるものです。

教会には色々な人が居られ、教会を建て上げるための働きも様々ですが、一人一人が主に愛された大切な人であることを忘れず、新年度も施策を進めて参ります。どうぞ、ご協力宜しくお願いします。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、)		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>